

ふくろう新聞

節分・豆まきで 無病息災

今年(令和3年)は154年ぶりに2月2日が節分でしたが、ふくろうの郷では例年通り2月3日(水)に鬼退治を行いました。今年の豆まきテーマは「コロナに負けるな」。自称「箸より重いものを持ったことがない」か弱き女性職員が、一度見



▲赤鬼・青鬼を退治する長田さん

たら夢にまで出そうな凶悪な赤鬼に扮して各ユニットを練り歩きました。行く先々で入居者に豆ボールを打ち付けられて、鬼はすっかり弱り果て逃げていきました。入居者のみなさんは、昼食後の眠い目をされていましたが、鬼を見た途端、驚いて目を覚まされ、力強く時にやさしく(鬼に気を遣いながら)豆ボールを投げ、「鬼は外・福は内」と元気な声が響いていました。

(生活援助員 堀田 喜子)



▲自分で寿司を巻きました

<発行>
社会福祉法人
ひょうご聴覚障害者福祉事業協会
広報委員会
洲本市中川原町中川原 28 番地 1
TEL: 0799-25-8550
FAX: 0799-25-8551
ホームページ
<http://hyoufuku.main.jp/fukuro/>

神戸平野ふくろうの樹 6月開所 現地案内は5月~予定



▲神戸市兵庫区石井町の建設現場



『神戸平野ふくろうの樹』(障害者グループホーム)の外観が出来上がり、内装工事が急ピッチで進められています。4月末の引き渡しまでもう少しです。

入居されている夜久保子さんが神戸市身体障害者福祉大会で内助功労賞(障害者運動を中心に担った奥様またはご主人の内助を功労する)に受賞が決定。贈呈式は中止となりましたが、2月2日にふくろうの郷で表彰状と記念品を狭間施設長が代理で伝達授与。保子さんは涙ながらに喜ばれました。

～施設概要～

- 開所予定：令和3年6月1日
- 入居定員：10名(体験利用については要相談)
- 施設案内：令和3年5月頃の予定
詳細は、改めてお知らせいたします。
- 申込受付：2月末に入居判定会議を行い、入居者を決定します。
その後も、継続して受け付けます。
- 事業内容：日中は、就労継続支援B型や生活介護、一般就労など、その方に合わせて過ごしていただきます。食事や洗濯など日常生活に必要なことは職員と一緒にしながら、自立した生活を送れるための支援を行います。

お問い合わせ・申込先

〒653-0836
兵庫県神戸市長田区神楽町5丁目
3-14-1
神戸長田ふくろうの杜
TEL 078-798-7940
FAX 078-798-7941
担当 竹原 哲章

ふくろう物語 宇都宮愛子様



▲喫茶を楽しまれる宇都宮さん

昭和15年8月2日3人兄弟の次女として神戸で生まれ、その後、大阪に転居されました。生い立ちについては十分な聞き取りができず、不明なところが多々ありますが、ろう学校(小学部)に通われていたようです。弟様と二人暮らしでしたが、平成22年に他界されたからは、一人暮らしとなりました。お姉様は同じ区に住んでおられたので、時々訪問されていましたが、認知症が進行し、現在は特養に入居されているようです。

平成9年以降に様々な病気を患い、視力低下・視野狭窄もあり、コミュニケーションは簡単な手話や身振り、指差しで今は職員とやりとりしています。

思い汲み取る 支援者と出会って

平成24年、役所から相談があり大阪ろうあ会館の中岡ケアマネージャー(ろう者)に繋がり、手話・身振りでコミュニケーションを図りながら在宅での暮らしを一緒に考え、住宅改修を行い、介護・障害福祉サービスを併用していました。手先が器用で縫物が得意でした。

以前、路上で倒れて救急搬送された際に、入院当日に点滴を外し、病院から抜け出すなど宇都宮様にとって病院生活への拒絶が強いことがうかがえます。その後、平成30年11月末に脳梗塞で入院され、経口摂取での食事が進まず、胃瘻を造設。退院を求められ、老人保健施設や、有料老人ホームなど転々とされました。

在宅復帰は難しく、入居先を探していました。縁あってふくろう

～空白の人生年表を埋めていきたい～ 宇都宮様 ・ 社会の動き等

S15	神戸で出生	国民優生法
S16	(大阪へ転居)	真珠湾攻撃
S20		第二次世界大戦
S21		原爆投下 敗戦
S22		憲法公布/女性参政権
S23	ろう学校で学ぶ	ろう教育義務化
S35		全日本ろう連盟設立
S39		優生保護法/身体障害者福祉法
S40		身体障害者雇用促進法
S41		東京オリンピック
S43		ベトナム戦争
S44		国際人権規約
S45		第1回全国ろうあ青年研究討論会
S54		国際人権年
S56		京都ろうあセンター開所
H3		障害者権利宣言
H7		民法11条改正
H12		国際障害者年
H13		第11回世界ろう者会議(東京)
H17		阪神淡路大震災
H18		介護保険制度開始
H22	弟様他界	ICF(WHO)採択
H24	大阪ろうあ会館の支援がスタート	特養「あすくの里」開所(大阪)
H26		特養「淡路ふくろうの郷」開所
R2	ふくろう入居	東日本大震災
		障害者権利条約批准

年の始まり とんと焼き

1月15日(金)にとんど焼きを行いました。地域交流会の平野様と沖田様にご協力をいただき竹でやぐらを作り、門松飾りやしめ縄、書道講座の作品を焼きました。一年、無病息災を願って…

(地域交流会 加野 明宏)



▲前日からの準備
ありがとうございます

生活援助員 廣地 美紀)

初詣

幸せを祈る気持ちは
変わらない



1月7日(木)、8日(金)に洲本港近くの炬口八幡神社に初詣に行きました。新しく建て替えられた御社殿を見たこと、の思いで行き先を決めました。今年はコロナウィルスの心配もあり、密を避けるため、三が日を外して、またできるだけ少数でお参りに行きました。

7日はあいにくの雨で、車から降りられ

れず、車窓から手を合わせてお参りさせていただきました。その中でも久しぶりに外へ出かけることができ、入居者の方々がとても嬉しそうにされていました

コロナ禍の時節柄でしたが、無事に初詣に出かけられ、短時間の限られた中で、私も入居者の方々の健康と来年はコロナが終息し、もっと大勢の入居者と初詣に来られるようにと、お願いしました。

(生活援助員 實生 貴之)

看取り介護研修

その人らしい最期を迎えられるために

1月26日(火)職員会議後に、看護主任による看取り介護研修が行われました。

看取りや終末期といった言葉の定義に始まり、終末期の送り方の希望に関する本人や家族との話し合い、死の直前にみられる反応、死後の処置といった、基本的な内容の後、実際にふくろうの郷で看取り介

料理講座 大根まつり

1月22日(金)に大根まつりを開催しました。

大根まつりは、地域交流会の皆様のご協力をいただき毎年開催しているもので、例年であれば外に竈を作っていたいただき、おでんを炊いて入居者も職員も一緒に食べる行事なのですが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止で、入居者と職員のみで毎月行っている料理講座として行い

ました。

今年も地域の平野俊和さんが丹精込めて育てられたたくさんの大根を、職員も手伝いながら入居者が皮をむき、切って、おでんを作りました。

寒い日が続く中、体を温めてくれるおいしいおでんが出来上がりました。

来年は昨年までと同じように地域交流会の皆様と一緒に開催できるとを願っています。(料理講座担当

管理栄養士 秦 奈津子)

護を行った方々についての振り返りをしました。

今年度は計5名の方をお看取りしましたが、いずれの方も病状はもとより、生前の性格や大切にされていたこと、ご家族との関係、どれをとっても同じことはなく、その方ひとりひとりに合った看取り介護を行えたのか、考えさせられました。

入居者を看取るということは臨終を見るときだけでなく、その方が歩んできた人生、その方の人となり、ご家族の関わり、思い、希望のすべてを見る。そのうえで、最期の時まで、

その方がその方らしくあり続けられるようお手伝いすることです。

また現在、コロナ禍においてご家族やご友人との時間が減っている中で、私たちが求められる役目の重大さを確認し、改めて身の引き締まる研修となりました。

(生活援助員 川満 和則)



難聴は見た目にはどんな困難があるのかわかりません。体の痛みもありません。ヘレンケラーは視覚障害は「物」と繋がりにくくする。聴覚障害は「人」と繋がりにくくすると言っています。聞こえに関する問題は、人との関りや社会との関りが薄れ、それによって精神的な痛み、心理的な痛み、社会的な痛みを伴います。そして難聴は人との関りが薄くなり、認知症やうつ病の発症とも関りがあると言われています。センターは社会生活教室を開催し集まる場作りや要約筆記派遣制度で難聴者を支援しています。

淡路聴覚障害者センター
センター便り

**高齢化で増える
難聴者問題**

洲本市港 2-26
洲本市健康福祉館 3階

**要約筆記は「聞こえ」を文字でサポート
聞こえにくい方の社会参加を支援します**

今まで病名などが分からなかったが要約筆記してもらったことによって、自分の病気のことや薬の飲み方など理解できて喜んでもらっている。

警察や市役所の届け出などでは、内容が大事なことでもあり、内容が間違ったり、提出物など漏れたら大変なことになる。要約筆記では文字で確認できるので、安心できると言ってもらえる。

要約筆記者の声

病院の受診通訳では病気と向き合う不安の中でも、派遣を重ねるごとに通訳だけでなく、人と人との関りの中で一緒に病気と向き合い、その思いに寄り添うことができ、自分を育ててもらうことができた。

要約筆記で難聴者から「よくわかった」「ありがとう」と言われ、やりがいを感じる。通訳の前後には筆談で色々話ができ親しくなるのも嬉しい。

ご利用ください！

要約筆記派遣制度

「話を聞き間違える」「あいまいに返事をする」「話を理解しているふりをする」こんなことはありませんか？病院での病気に関する説明や役所の手続きなど、命や権利に関する大事な場面では、「説明した」「聞いていない」など後でトラブルになることもあります。

聞こえにくい方には要約筆記派遣制度があり、申請に応じ要約筆記者を派遣しています。淡路島内では身体障害者手帳所持者が693人おられますが、要約筆記者の派遣件数はここ数年減少傾向にあります。制度を知っていただき、「自分のことは自分で決める」を支援したいと考えています。

要約筆記啓発リーフレット作りしました！

聞こえにくい方の社会参加を「要約筆記」で支援しています

登録要約筆記者が、話の内容をその場で分かりやすくまとめ、文字にして伝えます。個人情報などの秘密は守られます。安心してご利用ください。



こんな場面で使えます

病院診察 行政手続相談 学校での懇談など

自治会・町内会 婦人会等の会議 冠婚葬祭

資格取得講習 (運転免許等)



▲洲本市総合福祉会館に配置

携帯しやすいコンパクトなサイズです。島内の公的機関、耳鼻科などの窓口を設置していただいています。

問い合わせ

社会福祉法人
ひょうご聴覚障害者福祉事業協会
淡路聴覚障害者センター

〒656-0027 兵庫県洲本市港2-26
洲本市健康福祉館3階(みなと元気館)
TEL:0799-24-3850 FAX:0799-26-1175
Mail:fu1175@docomo.ne.jp



【聞こえ】を文字でサポートします

手話の他にも見て分かるコミュニケーション方法があります。話の内容をまとめ、**文字で伝える要約筆記**がそのひとつです。



中川原高齢者・障がい者地域 ふれあいセンター

兵庫県洲本市中川原町中川原 222-2
☎656-0002
TEL 0799-28-0990
FAX 0799-28-0992



新型コロナウイルス 感染防止の対策について

職員研修開催

1月14日(木) 午後5時30分
からふれあいセンター職員
対象に新型コロナウイルス感
染症予防についての学習会(P
C活用)を開催しました。



▲利用者検温・体調チェック表(送迎前)
検温実施中(玄関出入口)▶

ふれあいセンターは主に「通
い」の場となっており、来所さ
れる方またそのご家族のご理
解ご協力のもと様々な感染症
対策を行いながら運営してき
ましたが、改めて一つ一つの対
策について内容・行いう意味・頻
度等の確認・見直しを行いま
した。

職員一同気を引き締める意
味で今後も機会を見つけて開
催していきたいと考えていま
す。(濱田)

暮らしを考える 利用者会議を目指して おのこの家

1月21日(木)、毎月一回、
利用者会議が開催されます。収
益の報告から始まり、利用者さ
んからの意見や希望、利用者さ
んへお願いなどが主な内容で
す。

毎月盛り上がるのは意見と
希望です。「ご苦労さん会をや
りたい」「食べに行きたい」「花
見に行きたい」「職員のひとた
ちにはもつと手話を勉強して
ほしい」「節分をしたい」「鬼は



▲利用者さんから手話で報告



▲利用者さんから活発な意見・要望が出されます

誰?所長!(笑)など、コロナ
禍でなかなか実現できないこと
は承知だけれど意見が湧いて出
てきます。真剣かつ笑いのある
会が開催されています。

1月は難聴の方々からの聴こ
えの状況について「声は聴こえ
るけれど、何を言っているかわ
からない。聴こえた部分と想像
で話の内容がわかる。低い声は
聴こえにくい、高い声のほうが
聴こえる」「マスクをしていると
聴こえにくい、ついたてがある
からなお。周りの音も混ざる。」



▲難聴の方が自分の聞こえについて話されています

「補聴器がいいのかだいたいわ
かる」「近いと聴こえすぎる。少
し離れて話してほしい」など、
それぞれの状況をお話いただき
きました。これにはみんなが聞
き入っていました。

おのこの家には、ろうの方、
難聴の方、聴こえる方が混ざっ
て一日を過ごすのでお互いに配
慮しながら過ごしています。

(支援員 興津)

～ まちづくり協議会の地域活動に初参加 ～



▲せせらぎ(高取山湧水路)清掃



▲年末防犯パトロール

〒653-0836

FAX ..

TEL ..

〇七八七九八七九四〇

〇七八七九八七九四一

神戸長田ふくろうの杜

兵庫県神戸市長田区神楽町5丁目3-14-1

神戸ろうあ協会主催
ろうあ者市民講座

【高齢者デイサービスを知ろう】

1月26日(火)、施設長の眞木が介護保険デイサービスについて講演をさせていただきました。

介護認定の受け方、生きがいデイサービス(地域拠点型一般介護予防)にはない入浴と送迎、個々に合わせた支援計画、介護度によって変わる料金等をスライドを使いながら説明しました。

定員を超える30名余りの方にご来場いただき、急遽二部制で行い、少々早口になりましたが無事に終了。

早速、次の日には通所希望や問い合わせの連絡があり、職員一同大喜びでした。

沢山の方に通所していただき、笑顔向上！機能も向上!!していただきたいと思います。

利用希望の方、ご連絡ください。
職員一同、お待ちしております(*^-^*)



▲体を動かして体操しました



▲お菓子を作りました

2月・3月ふくろうの暮らし

- 2/17 (水) ふくろう喫茶
- 2/19 (金) ふくろう大学 書道講座
- 2/26 (金) ふくろう大学 料理講座
- 3/ 2 (火) 誕生会
- ふくろう大学 演劇講座

神戸施設建設募金
目標 1 億円 !!

2021.1.31 現在 募金合計額 **91,437,631 円**
(プレート募金 315 人)

目標1億円まで、あと **8,562,369 円**